

答え合わせ・解説

問1	答え 2 1人	小選挙区制では、1つの選挙区から当選するのは必ず1人です。得票数が最も多い候補者が当選するため、多数の意見が議席に反映される一方で、落選者の票（死票）が多くなる傾向があります。
問2	答え 1 普通選挙	現代民主主義における基本ルールであり、日本では1925年の普通選挙法施行により、満25歳以上の男子に選挙権が与えられたのが始まりです。その後、現在は満18歳以上のすべての男女に選挙権が認められています。
問3	答え 3 法の下平等	憲法14条は「法の下平等」を規定しており、国会議員1人あたりの有権者数に大きな格差があることは、投票価値の平等に反し、この憲法原則を侵害しているとみなされます。
問4	答え 3 比例代表制	投票の際、候補者個人ではなく政党名（または候補者名）に投票し、その得票比率に応じて議席を政党に配分します。これにより、少数意見を持つ政党も国会に議席を持ちやすくなります。
問5	答え 3 得票率	比例代表制では、政党ごとの得票率に応じて、あらかじめ決まった議席数が割り振られます。この仕組みにより、たとえ一つの選挙区で勝てない政党であっても、全国的な得票率が高ければ議席を獲得することが可能となります。
問6	答え 1 直接選挙	直接選挙は、有権者が誰に投票するかを直接決め、代表者を決定する制度です。日本の国会議員選挙や地方自治体の首長選などはこの仕組みで行われています。
問7	答え 4 小選挙区比例代表並立制	各選挙区で1人を選ぶ小選挙区制と、各政党の得票数に応じて議席を配分する比例代表制を組み合わせた制度です。これにより、地域代表としての側面と政党中心の政策論争の側面を併せ持っています。
問8	答え 4 連立政権	この事態を解決するため、複数の政党が合意に基づいて協力し、合同で内閣を組織します。これを連立政権と呼びます。参加する政党間で政策の優先順位をすり合わせ、大臣のポストを分け合うなど、協力体制を築きます。
問9	答え 1 野党	野党は内閣を組織していない政党の総称です。主な役割は、国会での質疑や法案審議を通じて、政府の予算案や政策の矛盾点を厳しく追及することです。また、国民に対して別の政策案を提示することで、将来の政権交代に向けた準備を行う役割も担っています。
問10	答え 1 直接選挙	有権者が自分たちの代表を選挙で直接選ぶ仕組みを指します。これに対して、選挙人が選んだ代表がさらに別の代表を選ぶ間接選挙とは区別されます。現代日本の国政選挙では、この直接選挙の原則が守られています。
問11	答え 4 普通選挙	普通選挙は、こうした経済的な条件や性別による不平等を撤廃し、すべての国民が政治に参加できるようにする原則です。日本では1925年に男子普通選挙が実現し、戦後の日本国憲法下で現在の形が確立されました。
問12	答え 3 比例代表制	比例代表制では、有権者は「政党名」に投票し、その得票率に応じて各政党に議席が割り振られます。これにより、多様な意見や考え方が議会で反映されやすくなります。
問13	答え 2 政権交代	政権交代は、選挙によって野党が勝利し、新たに政権を担うようになる現象です。これにより、国民は政策の異なる政党同士を比較・選択し、政治の方向性を自分たちの意思で変えることができます。
問14	答え 2 選挙無効	選挙無効とは、選挙区の格差が著しく憲法違反の状態である場合や、不正が行われた際に裁判所が出す判決です。これにより、その選挙によって選出された議員の身分が失われる可能性があります。
問15	答え 1 重複立候補	候補者は、小選挙区の候補者として立候補しつつ、同じ政党の比例代表名簿にも登載されることができません。小選挙区で惜敗しても、比例代表で復活当選できる可能性があるのが大きな特徴です。
問16	答え 3 マニフェスト	マニフェストとは、政権交代可能な政党が、具体的な数値目標や財源、達成期限を明記して提示する「政権公約」のことです。有権者はこれを見て、どの党の政策が自身の生活に役立つかを判断します。